

No. 1

食を通じた子どもの 居場所づくり



1 活動の概要

活動名	上松山子ども食堂
対象地域	宇土市上松山
運営主体	上松山いきいきサロン、生活学校
活動の種類	①集いの場 ②見守り活動 ③防犯・防災活動 ④困りごと・生活相談 ⑤移動・送迎支援 ⑥地域のイベント ⑦その他（ ）
活動日時	令和元年10月、令和2年1月に実施。今後は検討中
活動場所	上松山コミュニティセンター
参加費	無料
対象者	上松山地域住民、近隣地域の住民
協力団体	自治会、婦人会、宇土市社会福祉協議会、 デイサービスたんぽぽの家
運営財源	フードドライブ、 共同募金（ボラサポ九州：住民支え合い助成）
備考	

2 活動を始めたきっかけ

宇土市生活学校では、これまでレジ袋削減や食品ロス削減の活動等に取り組んできた。現在、80～90歳前後の上松山いきいきサロンメンバーが主で活動を実施。

活動についてメンバーから「一人っ子やひとり親世帯が増える中で、子どもが安心して遊べる場所を作りたい」との意見があった。地域の民生委員に相談したところ、社協の紹介があり、子ども食堂の開催へとつながった。

3 活動の内容

・子ども食堂

① 令和元年10月21日（約40名が参加）

婦人会に協力いただき、カレーのふるまいと、紙芝居などを実施

② 令和2年1月25日（約80名が参加）

婦人会、自治会、福祉施設、ボランティア等の協力により、にゅうめん、巻き寿司、お菓子作り、生け花、メッセージカードづくりなどを実施

4 特徴やポイント

・フードドライブの実施

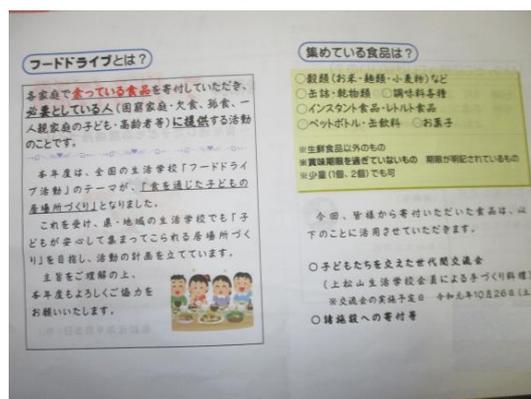
食品ロス削減も1つのテーマであり、フードドライブのチラシを作成。フードドライブについて理解を図るとともに、協力を呼びかけた。その結果、お米や野菜、ソーメン、のりなど、多くの食品を提供いただいた。

・市社協との協力

子ども達（学校）への周知や、助成金申請の手続き等に協力があった。

・地域の事業所との連携

地域の福祉施設から食品提供や器具の貸し出し等の協力があった。



5 課題（現在と今後）

・人が集まる機会があることが大切。今後の活動についても検討中。

6 問い合わせ

宇土市社会福祉協議会 ☎ 0964-23-3756